

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団活動事業			会計	款	項目	大手	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	秋谷 哲夫			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、消防団	意図	消防団員のスキルを向上させ、地域住民が安心して暮らせる街づくりを構築する
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・火災等災害に対する出動 ・技術向上のための各種訓練 			
事業開始から現在までの状況変化	消防団は地域のボランティアとして活動してきたが、自治体消防制度の発足からその管理を市町村が行うことになり、活動に対する手当を支給することになった。災害時や訓練等に出動した場合に出動手当を支給しているが、今後も地域住民の安全確保をしていくために継続して事業を推進していく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 訓練等出動人員	1,420	1,923	1,701	人	→→	
	② 災害等出動人員	228	200	135	人	→→	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	消防団員が迅速に火災等に出動することで、市民の安心感が高まり、災害現場における消防職員への負担も軽減される。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 災害等に出動する消防団員の数は減少傾向にある。		
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,253,750	9,792,719	10,551,169			
事業費(b)(円)		5,465,750	6,203,719	7,057,669			
うち一般財源		5,465,750	6,203,719	7,057,669			
職員給与費(c)(円)		3,788,000	3,589,000	3,493,500			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	火災予防に積極的に取り組み災害のない街づくりを目指す
②今年度(H25)に実施した取り組み	流山市出初式 実戦操法大会 火災予防広報パトロール

③取り組みの課題	訓練を充実させ、市民からの信頼をより高いものとする
④今後の改善計画	消防団員の確保を最優先